

執刀開始前1時間以内に予防的抗菌薬を開始した割合

【指標の説明】

予防的抗菌薬の投与は、SSI(手術部位感染)の予防のために行われるものです。

手術が始まる時点で、十分な殺菌作用を示す血中・組織中の抗菌薬濃度が必要であり、皮膚切開前1時間以内に投与を開始することが推奨されています。

SSIの発生は、在院日数の延長や医療費の増加など患者さんの苦痛につながるため、その予防策の実施状況が医療の質を表す指標の1つとなっています。

【定義】

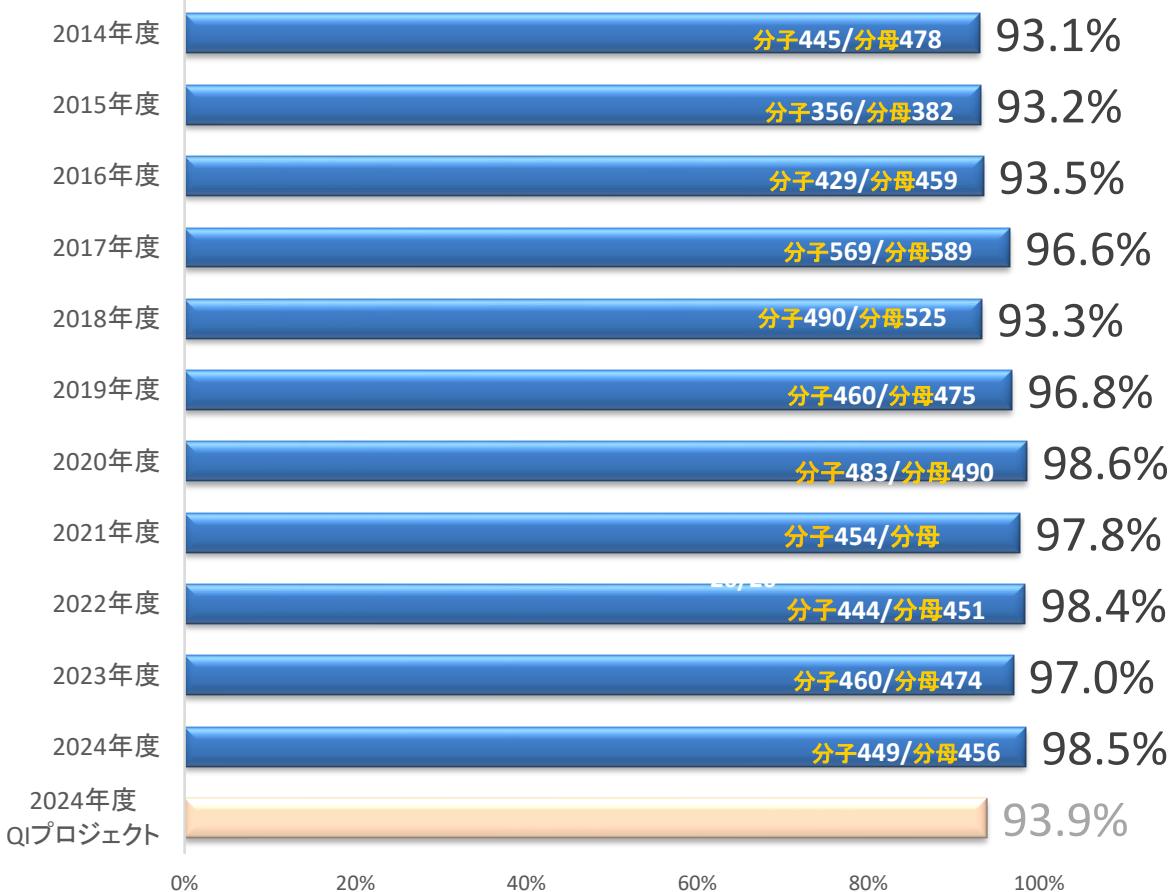
日本病院会「QIプロジェクト」の定義に準じています。

分子 皮膚切開前1時間以内に投与が開始された手術件数

分母 特定術式(※)の手術件数

※冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、血管手術、大腸手術、子宮全摘術、
股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術

岐阜県立多治見病院の推移



【内訳】

